

会員だより

電線共同溝工事!

道建協会員の皆様、こんにちは。
昨年度竣工した、伊佐地区電線共同溝工事について紹介します。

工事箇所は、交通量67,000台/日の宜野湾市大山地内、国道58号(上下線)で歩道部、車道部を1.5m掘削し、電力管、通信管を埋設する工事で日当り施工量は4m、施工総延長380m、約9ヶ月間の工期で交通規制をとまなう昼夜の施工を行いました。

最も気を使ったのが大山小学校の交差点部において国道を横断する管路掘削が2箇所あり、片側3車線の2車線を規制して昼夜連続で急速施工がありました。事故も無く安全に終わることが出来てほっとしました。

地域の皆様並びに道路利用者には、工事期間中ご不自由をお掛けしましたが、今後電柱が無くなり歩道が広くなり歩きやすく街の景観が良くなる。台風時に断線による停電がなくなる。道路の見通しが良くなり交通事故が減る。などの効果が期待できます。



株式会社 鏡原組 代表取締役社長 新里 英正

これからも地域の皆様をしっかり工事説明を行い、快適・安心・安全な街づくりのために頑張っ
てまいります。

二車線交通規制状況



特殊部製品設置状況



工法説明看板

会員だより

トライアスロン! 鉄人レース

今年も4月23日に「第33回全日本トライアスロン宮古島大会」が開催されました。この大会は、スイム3キロ・バイク157キロ・ラン42.195キロ、合せて202.195キロのコースで、午前7時の水泳競技開始から午後8時半までの制限時間13時間30分の過酷なレースであります。

今年も1552人が限界に挑戦し、完走者は1263人完走率81.4%とのこと。当社は第1回大会からランコースのエイドステーションでボランティアとして大会運営に関わり、今年で33回目となりました。

エイドステーションでは、選手への飲食物の提供や体を冷やすためのスポンジの提供、体調不良を訴えた



選手に心強いエイドステーション!

共和産業 株式会社 代表取締役社長 下地 武義

選手がいる場合の救急連絡等様々な対応を求められ、ボランティアそれぞれの役割分担と連携が欠かせません。特に道路状況には注意が必要で、交通規制がされているとは言っても道路沿いで応援している子供の急な飛び出し等による選手との接触防止や、走路に落ちたごみは素早く拾って競技の妨げにならないように迅速に対応することも安全な大会運営のために重要です。

毎年4月の恒例のボランティアですが、長年の経験で培ったチームワークで、今年も無事に大会を終える事ができました。

また、今年も久しぶりに当社の社員1名がトライアスロンに選手として参加したため応援にも熱が入り例年以上に盛り上がった1日でした。



声援を受けて! よっし完走だ~

活動報告・トピックス



株式会社 丸政工務店 企画・広報委員 大城 孝雄

ショッピングとグルメの宝庫 道の駅

初夏を迎えこれからドライブや各地のイベント(祭り)観覧など、お出かけする事が多くなると思
いますが、そこで県内に8カ所ある道の駅(沖縄総合事務局認定)を訪れてはどうか、『ゆいゆい国頭』では地域で獲れた数々の野菜やイノブタ料理や国頭ドーナツがあり、『許田』では外間かまぼこ、10円饅頭が美味しく頂けて特に人気なのが宝くじ売場で高額当選者が多く出ています。

『喜名番所』は販売店や飲食店もないが琉球王朝時代の番屋で歴史を学ぶことができ心が落ち着く道の駅です。

漁業の町、道の駅『いとまん』はお魚センターやファーマーズマーケットなどが施設内にあり安く新鮮な食材がズラリ、特性を活かした加工品が多数あり楽しんで見て回れます。

『おおぞみ』のシークッカーや赤土大根、『ぎのぞ』の土日のフリーマーケット『かでな』のジャンボバーガーや展望台、『豊崎』のマングローブや加工品販売など【道の駅は】地域の文化や歴史、特産物などが多様で個性豊かな活力のある施設です。ので会員の皆様も一度は立寄ってお楽しみください。

道の駅MAP



①第128回 道路美化・清掃活動

張り切って準備も天気には勝てず!

4月18日(火)に実施予定の第128回道路美化・清掃活動は、早朝からの天候不良により急遽中止となりました。

今月の予定

- ①第1回安全委員会 支部会議室
5月9日(火)11:00~13:00
- ②第1回技術・積算委員会 支部会議室
5月11日(火)11:00~13:00
- ③第1回企画・広報委員会 支部会議室
5月18日(火)11:00~13:00

沖縄の伝統行事シーミー(清明祭)

沖縄には、旧暦の伝統行事がたくさんあり、その中のひとつに旧正月やお盆とともに大きな行事のひとつであるシーミー(清明祭)があります。

シーミーは旧暦で3月の二十四節気の清明の節の期間に行う行事で、今年の清明の日の入りは4月4日でした。

この時期、観光客の皆さんがお墓の前を通ると異様な光景を目撃してビックリすることがあると言います。沖縄独特の大きなお墓の前にブルーシートが掛けられ大勢の人が持ち寄ったご馳走を食べたり飲み物を飲んだりしているからです。

けっしてお墓でピクニックをしているわけではありません。これがシーミーで、先祖の霊を慰める目的で門中(親戚)が各地から墓に集まって供養をしているのです。

シーミーは沖縄の大事な伝統行事のひとつですが、もともと、中国の清明祭の行事が沖縄でも行われるようになり、首里王府の行事でした。それが士族の行事にも取り入れられ、あとは庶民でも行われるようになり、現在のように一般的に定着していったようです。

シーミーでは、お墓周辺の草刈りや清掃を行い重箱などに入れたご馳走をご先祖様にお供えしウチカビ(あの世のお金)を焼き一人一人がウコーをあけてお祈りします。

ちなみに、重箱の中に入れるのは皮付き3枚肉、紅白のかまぼこ、天ぷら、ごぼう、こんにゃく、昆布巻き、揚げ豆腐、煮付けなどで、お供えした後は皆でウサンデーします。

祖先をいつまでも大切に敬うとともに大勢の親戚が集まって近況報告を行う等絆を深める場にもなっているシーミーは大切な沖縄の伝統行事です。

